

区分	住民基本台帳	外国人登録	合計	
人口	男	30,174	1,075	31,249
	女	29,414	1,232	30,646
	計	59,588	2,307	61,895
世帯数	26,917	1,300	28,217	

新庁舎基本設計者選定公開ヒアリング	… 2面
商店街まつり綱引き大会参加者募集	… 3面
介護と生きがいのある生活を支援	… 4面
ひとり親家庭の福祉制度	… 5面
市営・都営住宅の空家登録者募集	… 6面
市民のひろば	… 6面

発行/福生市 編集/総務部秘書広報課 〒197-8501 福生市本町5 ☎042-551-1511 (市役所代表)

福生市のホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>



浮世絵「女禮式之図」松斎吟光 明治20年

江戸後期に始まった半襟は、幕末から明治にかけて衣裳が地味になったこともあって華やかな刺繍・友禅染のものが流行しました。大正期に入ると一段と手の込んだ華麗なものになり西洋風の文様や色調のものも多くなり、襟元をゆったりと着付け、華やかな襟を広くのぞかせた着こなしがされるようになりました。



はんえり半襟 (大正時代)

「きもの」は室町時代の小袖に細帯を締めただけの着流し姿の小袖帯から発展した日本の伝統的な衣服です。「きもの」は時代とともに意匠をこらしていき、明治に入ると外国から化学染料や織機などの新技術を導入し、新たな発展をとげています。

資料室では、約400点の「きもの」を所蔵しています。展示では明治から昭和にかけての地域にゆかりのある女性の「きもの」を中心に紹介し、「きもの」が日常に着だだころの時代のかおりにふれ、失われつつある身近であった「きもの」文化を再認識したいと思っています。

「きもの」は、長方形の布の集合でできているので作り直しが非常にしやすい形になっています。明治から昭和初期、この地域でも布は、女たちの手で手間ひまかけて織られたため、貴重で非常に大切にされました。作られた着物はほどこいて洗って、継いで何回も作り直して使われました。

普段着男女とも仕事をするときのきものが普段着でした。

オサスリ着よそゆきほどあらた

「きもの」は、長方形の布の集合でできているので作り直しが非常にしやすい形になっています。明治から昭和初期、この地域でも布は、女たちの手で手間ひまかけて織られたため、貴重で非常に大切にされました。作られた着物はほどこいて洗って、継いで何回も作り直して使われました。

お盆、お祭りその他あらたまって親類などへ出かけるときの服装をよそゆきといいました。女性は絹のウチオリ

(自宅で織った織物)の縞物、また縮緬などに織って

おいたものを紺屋に出して小紋などに染めた着物などを着ていました。また羽織を着ることも多くありました。

昭和になって銘仙が出てくると足利や伊勢崎、特に八王子銘仙がちょっとしたよそゆきによく着られるようになりました。



単衣四つ身浴衣木綿よそゆき 藍染め絞り(大正時代) 藍染め絞りは江戸期に各地方で木綿の普及とともに発展しました。

郷土資料室では昔の「きもの」を収集しています。協力いただける方はご連絡ください。

開館時間 午前10時～午後5時 休館日 毎週月曜日・月曜日が祝日の場合は開館し火曜日が休館になります。

問合せ 郷土資料室 ☎530・1120

郷土資料室企画展

「きもの」く明治から昭和へ

10月2日(土) ～ 11月28日(日)



大正のころ 日常的に「きもの」が着られていました

施設見学会に参加しませんか

一中ランチルーム「フォレストホール」でランチ試食体験

今回の施設見学会は、市議会議場見学と福生第一中学校のランチルーム「フォレストホール」でのランチ試食体験です。

一中ランチルーム「フォレストホール」は多目的ホールとしても活用できる、カフェテリアとランチルームを融合した施設で、明るく開放的な生徒食堂です。ドライ方式で衛生面に優れ、深夜電力の利用により、コストパフォーマンスに優れた最新のオール電化厨房設備を

備えています。

議場見学では、福生市の市勢記録ビデオを放映します。

ご参加いただいた方全員に福生市特製ピンバッジをプレゼントします。ぜひ、皆さんふるってご参加ください。

日時 10月28日(木) 午前10時～午後1時 (予定) 集合場所 市役所玄関前

対象 市内在住在勤の方 定員 先着35人

参加費 540円(昼食代+保険代) 申込み 9月21日から参加費を添えて、直接、秘書広報課広報係(市役所本庁舎2階)へ。

ご参加ください! 学習会「暮らしに生きる織りと染め～見る・さわる・確かめる～」

きもの文化とともに発展してきた日本の染織について、実際に所蔵資料にふれながら学習します。

11月開催予定。くわしくは今後広報ふっさでお知らせします。

丸帯地(大正時代)西陣織・成人式服用。鶴、松、竹、菊、楓などの柄(鶴は平安時代から長寿延齢として尊ばれ、姿の美しさからも衣服や調度などの装飾に用いられています。)

